

北九州港新門司地区複合一貫輸送ターミナル整備事業

費用便益の概要

便益

項目	区分	単位当りの便益		便益(代表年)	
		単位	備考	単位	
利用者便益	輸送コスト削減 (完成自動車)	6,123	円/台	輸送距離短縮による輸送コスト削減	26.9 億円/年
	輸送コスト削減 (中古自動車)	10,552	円/台	輸送距離短縮による輸送コスト削減	1.9 億円/年
	輸送コスト削減 (完成自動車)	3,623	円/台	船舶大型化による輸送コスト削減	15.9 億円/年
	輸送コスト削減 (自動車部品)	654	円/トン	輸送距離短縮による輸送コスト削減	1.3 億円/年
	輸送コスト削減 (滞船の解消)	1,351	千円/時	滞船解消による輸送コスト削減	0.7 億円/年
	輸送コスト削減 (フェリー貨物)	199,957	円/台	輸送距離短縮による輸送コスト削減	120.7 億円/年
	輸送コスト削減 (RORO貨物)	1,018	円/トン	輸送距離短縮による輸送コスト削減	16.4 億円/年
耐震便益	輸送コストの増大回避 (RORO貨物)	10	円/トン	震災時の輸送コスト増大回避	0.2 億円/年 注
	輸送コストの増大回避 (フェリー貨物)	29	円/トン	震災時の輸送コスト増大回避	1.1 億円/年 注
	施設被害の回避	0.2	億円/年	震災時の施設被害回避	0.2 億円/年 注

注)地震の発生確率を乗じている。

\* 便益の算出にあたっては、「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(令和6年6月)」を参照

費用

費用項目	建設費、管理運営費
事業の対象施設	岸壁(水深10m)、航路(水深10m)、泊地(水深10m)、岸壁(水深7.5m)(改良)(耐震)、岸壁(水深8m)、岸壁(水深9m)(耐震)、泊地(水深9m)、臨港道路、ふ頭用地